

今年の夏は、10月初旬まで記録的な暑さに見舞われ、あたふたの毎日。と思ったら、気候は、秋を忘れて冬を思わせる季節感。でも、紅葉は進み、やはり季節は秋。星空も秋の星や星座が真上に輝いているよ。

秋の星空には、ぜひ見つけてほしいスポットがあるんだよね。ホミリーも、ぜひ見てみたいんだ。
肉眼で見える最遠の天体と、そして「すばる」!

秋の星空には、皆さんもきつと耳にしたことがある「アンドロメダ銀河」と、「すばる」と言う天体があります。秋の星空を訪ねながら、ぜひこの2つの天体にも目を向けて見てください。

アンドロメダ銀河は、地球が位置する「天の川銀河」もこんな姿(渦巻型)をしているのではないかと教えてくれる天体です。地球からの距離は、約230万光年、場所は、まっふ上、ほぼ中央のM31と表記した辺りに、ボートした雲のような塊を見つけて下さい。すばるは、プリアデス星団と呼ばれる散開星団(星の集まり)で、日本では古来より「すばる」との呼称で親しまれています。目の良い人なら6〜7個の青白く輝く星を数えられるでしょう。地球からの距離は約440光年、まっふ上、中央左よりM45で表記する辺りです。すぐ見つけられますよ。

今、何やら話題の

レモン彗星って何だろう?

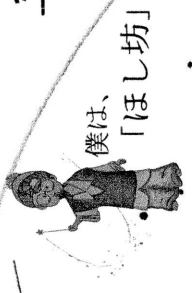
ほうき星とも呼ばれ、惑星と同じように太陽のまわりをまわっている天体です。今話題のこの彗星は、なんと次に見ることができるのは1400年先になるとのこと。皆さんの良く知っているハレー彗星でも、76年に一度しか見ることができませんが、レモン彗星は驚ろくばかりですね。一生に一度のチャンスだと騒がれていますので、じゃ、見つけてみるかと挑戦してみたいのか? かがでしようか? ではない頃、どの辺りに見えるでしょうか? 11月中旬にかけて、夕方から宵、西南西の低い空に見えます。へび座からへびつかい座下部辺りになります。4〜5等星くらいの明るさなので、双眼鏡で探してみましよう。緑色のしつぽを引いています。見つけられたら万歳ですね! 「一生に一度もの」を手に入れますよう!

「土星の輪の消失」再び観察のチャンス!

今年は、土星の輪が消失する天文現象が起きる話題の年。今年春の消失は、位置関係で観測しにくい状況だったけど、11月末から12月初め頃にも、消失現象が見られます。観測条件は良さそうなので、ぜひ観察に挑戦してみてください。

{星空まっふの見方}

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっふをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!



北斗七星
おおぐま座
こぐま座
北極星
「ホミリー」
「わたし、

ケフェウス座
デネブ
夏の大三角
アルタイル
ペガス座
アンドロメダ座
天の川
カシオペア座
ペルセウス座
おひつじ座
おうし座
おおいぬ座
みずがめ座
うお座
くじら座
ポラリス
リゲル

東E

南S

{黄道}
天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り

◎ 1等星以上
● 3等星
● 2等星
● 4等星以下